

研究課題：たんぱく漏出性胃腸症の画像所見についての後ろ向き研究

1. 研究の目的：たんぱく漏出性胃腸症の画像所見を明らかにします。
2. 研究の概要：たんぱく漏出性胃腸症は、リンパ奇形や中心静脈圧上昇、腸管炎症などさまざまな原因で発症する病態です。また、体幹の浮腫を生じ、患者様の QOL 低下を招き、また、原因が様々であるため、特定できず治療に難渋することも多いです。診断のため、超音波、CT や MRI、核医学検査などさまざまな画像検査が施行されるものの、これらの所見についてのまとまった報告は少ないです。今回の研究では、たんぱく漏出性胃腸症の診断のためにおこなわれた画像所見を検討し、診断、治療に役立つ画像を明らかにします。これによって、診断、治療に難渋するたんぱく漏出性胃腸症の診断と加療が、より早期にできるようになると考えます。
3. 研究の方法
研究期間は 2006 年 9 月から 2021 年 7 月までのたんぱく漏出性胃腸症が疑われた患者様で、診断と加療のために超音波検査、CT、MRI、核医学検査を行われた患者様の、検査時期、治療法、画像所見などを後方視的に調べます。
4. 研究期間
2021 年 9 月から 2022 年 2 月までの 6 ヶ月間で、カルテを調べ、結果をまとめます。
5. 研究に用いる資料・情報の種類
研究期間は 2006 年 9 月から 2021 年 7 月までのたんぱく漏出性胃腸症が疑われた患者様の診断、加療に撮影された超音波検査、CT、MRI、核医学検査の結果を用います。
6. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表
この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切わからないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。
7. 研究組織
研究実施責任者： 細川 崇洋

研究施設名：地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター 放射線科

連絡先：330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心 1-2

電話 048-601-2200

8. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021年10月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）